

登録コード	TSJ51500	開講年度	2026				
授業科目	知識工学特別実験 I				担当教員	香山 瑞恵	
英文授業名	Knowledge Engineering Laboratory 1				副担当		
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	実験	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			⇔	【授業の達成目標】		
	2 4TSカリ, 2 3TSカリ						
	【研究科共通】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力			⇔	環境調和社会, 知識基盤社会に寄与する、知識工学に関する専門知識と実践的技術力を身に付ける。		
	2 6TSカリ, 2 5TSカリ						
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観			⇔	工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を身に付ける。		
	2 4TSカリ, 2 3TSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力			⇔	環境調和社会, 知識基盤社会に寄与する、知識工学に関する専門知識と実践的技術力を身に付ける。		
	2 6TSカリ, 2 5TSカリ						
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力			⇔	さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力を身に付ける。		
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力			⇔	専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力を身に付ける。		
(2)授業の概要	特定のテーマに対して、深い知識を身につけるとともに、受講者自身が主体的に実験方法を調べ、アイデアを出し、問題点を解決しながら実験を行うための能力を養う。						
(3)授業計画	下記の分野に関係するスキル獲得や学習等の計測処理技術に関するテーマを、受講者が選択して、情報計測・処理システムを構築する。実験を通して、計測技術、処理手法を学び、問題点、改善方法等を議論する。 1. 人間の行動特性 2. スキル獲得過程の特徴 3. 行動主義に基づく活動計測 4. 社会的構成主義に基づく行動計測 5. 認知的状況論に基づく行動計測 6. 動作解析用センサデータの解析 7. 解析システム 8. 活動支援システム 9. サービス基盤を利用したシステム構築						
(4)成績評価の方法	受講者毎に毎週行う進捗状況の報告と、2週間に1回程度行うゼミ形式でのプレゼンテーションの内容を総合的に判断して、単位を認定する。						
(5)成績評価の基準	活動の成果として、国内外の学会に発表できる知見が得られた場合、合格とする。						
(6)事前事後学習の内容							
(7)履修上の注意	特になし						
(8)質問,相談への対応	教員のオフィスアワーに対応する。						
(9)その他	特になし						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						